

令和6年度 一般会計補正予算(第8号)

全員賛成で可決

文化施設の電気料金
高騰に増額補正

文化施設管理運営事業

ステラ・ウェストの光熱水費の精算に伴い補正予算で指定管理料が増額されました。
産業文化センターでは規則改正により椅子と机の利用料金が無料となりました。それに伴い指定管理者の減収分の補てんとして予算が増額されました。

文化施設指定管理料で光熱水費が830万円増額となった理由は。

ステラ・ウェストの指定管理契約で、当初仕様書の中に2年間分の光熱水費の状況を見て、3年目以降の額を確定することになっている。よって令和6年度分の精算に伴い補正予算で増額する。

産業文化センターの指定管理料が増額されている。電気料金以外の増額の内容は。

当初ギャラリーの椅子と机は、利用料金が発生していた。令和4年に椅子と机の利用料金を徴収しないことを検討した。それにより、市が減収分を補てんする協議書を交わしたた



芸術に親しむステラ・ウェストホール

保育士等の処遇改善で
働きやすい環境を

幼児教育・保育施設運営支援事業

保育士や幼稚園教諭等の給与算定のベースとなる公定価格が昨年度大幅に引き上げられました。それを受けて保育士等の処遇改善が図られることになりました。

市内保育所等運営委託料が約3億円の増額となった経緯は。
運営委託料の積算根拠となる公定価格が、人事院勧告を反映して10・7%の大幅な引き上げとなり、さらに令和6年4月までさかのぼって適用される。そのため、令和6年4月から令和7年3月までの増額分を計上した。
増額分は何に充てられるのか。
今回の公定価格の増額分は人件費である。現場の保育士等の賃金改善及び法定福利等の事業主負担に活用してもらえよう各施設に要請している。
増額分を保育士の給与として確実に支給して



歴史を語り継ぐ
博物館を新たに設置

市立資料館条例の一部改正

条例改正
全員賛成で可決

上福岡歴史民俗資料館と大井郷土資料館が統合され、博物館に生まれ変わります。旧大井図書館・旧大井郷土資料館が改修され、令和8年9月オープンを目指しています。

博物館にする目的は。

資料を収集し、教育等を行っていく機関、施設となる。博物館法にのっとり、今までの資料館よりも幅広いものを対象とする。

博物館のコンセプトは。

市の郷土、歴史、文化を総体的に学べる展示機能を充実した施設を検討している。文化財の保存活用の



旧大井図書館が市立博物館に

拠点、地域とともに学び伝える拠点としての機能も持たせたいと考えている。

福岡小学校の前身にあたる三福学校の展示ができないか。

新博物館において、三福学校の一部の部材を使った展示を考えている。

また、模型を利用して内部も見られるよう工夫したり、映像を活用することも考えている。

歴史と文化に限定せず、様々な社会教育に活用できる施設を目指すところがあるが、その意味は。

市は合併して20年を迎え、新しく転入した住民も増えた。

本市の歴史と文化を総体的に学ぶだけではなく、体験学習や市民の交流の場、市民ギャラリー等も併せて整備する。さらに様々な社会教育の場として活用していきたい。

補正予算
全員賛成で可決

災害に備え
トイレトレーラーを導入

令和6年度一般会計補正予算(第9号)

国の交付金等を活用し、移動式の水洗トイレを備えたトイレトレーラーとけん引車両を導入されます。

トイレトレーラーの概要は。

プライバシーが確保された4つの個室に水洗式の洋式便器、照明、手洗器などの設備があり、断水時にも対応できる。

外装は、市の名前のほか、ふじみ野市誕生20周年を記念したふじみのラッピングを考えている。

トイレと車両が一体となったトラックではなくトレーラー型とした理由は。

物資の搬送等に適しているため、被災地への物資支援にも対応できることや、トイレ部分の入れ替えができるためである。

どのようなときに使うのか。

災害時に指定緊急避難場所などでの運用のほか、市の総合防災訓練、ロードレース大会、おおい祭り、上福岡七夕まつりなど多くの人が集まる場所での活用を想定している。



災害やイベントで大活躍

また、被災地への派遣も行っていくことを考えている。

保管場所は。

市防災備蓄品管理倉庫隣接の公用車駐車場を考えている。